

和泉だより

12月号

平成28年12月1日
千代田区立和泉小学校
千代田区神田和泉町1番地
<http://www.chiyodaku-izumi-e.ed.jp>

『感動を次のステップに』

副校長 太巻 美青

11月25日（金）、26日（土）に、音楽会が実施されました。事前の準備から当日の声援まで、地域やご家庭より様々なご協力をいただき、実施することができました。ありがとうございました。

各学年の歌声や演奏の音色から私が強く感じたのは、6年間の子供たちの成長の大きさです。6学年を通して発表を見てみると、徐々に変わっていく子供たちの成長を感じます。1年生はかわいらしさが、6年生は大人に近づいた声の響きが印象的でした。地域や保護者の皆様にも、行事等の機会にぜひ学校全体の子供たちの様子を見ていただければと思います。それが、子供の成長への見通しや期待、確認につながると思います。

この音楽会前に、本校にはオリンピック・パラリンピック教育に関わり、ゲスト・ティーチャーが来校する機会が続きました。ゲストの皆様からは、たくさんのメッセージをいただきました。下記はその一部です。

- しんどいことが多くても、心は充実してくる。今辛いことは将来のためである。
- 失敗しても気持ちを切り替える。失敗は取り戻せる。
- 走る時、初めは苦しくて後悔する。途中で調子が良くなるが、また苦しくなる。ゴールした時、途中でやめなくてよかったと思う。

11月末より学期末の個人面談が始まりました。個人面談は、保護者の皆様と、音楽会等の頑張りや今後更に頑張ってもらいたいこと等、子供の成長について話し合う場です。先のメッセージのように、ご家庭とともに子供たちに意欲や勇気を与える、有意義な情報共有の場としたいと思います。

「共に考える個人面談」

教務主任 山宮 秀和

個人面談が始まりました。個人面談では、お子様の学校での様子をお知らせするとともに、これからの子供たちのことを、一緒に考える時間にしていきたいと考えております。

お子様の生活について、ご家庭で困っていることはどんなことでしょうか。直したいと考えることが多い保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一方で、よい点もたくさんあるはずです。どんなことが課題で、どんなことを伸ばしていくのか、ということをご家庭と学校で共に考える機会にしていきます。

また、学期末の「通知表」の所見欄も、同様の考えから、その子のよさやがんばっている姿を中心にお知らせします。ご家庭でのお子さんと一緒に話し合い、考えるきっかけにしてください。

和泉ふれあい広場

担当 盛 加果

和泉小学校の冬の恒例行事である「和泉ふれあい広場」を今月の10日（土）に行います。「作るコーナー」の竹とんぼづくりや絞り染め体験、はしづくりなどでは地域の方に、また、「作って遊ぼう」のコーナーでは、PTAの方々のご協力をいただきます。毎年変わらずご協力をいただけることに感謝申し上げます。

「和泉ふれあい広場」のねらいは、児童や保護者が互いにふれあい、地域文化を継承するということです。昔から受け継がれているけん玉遊びや羽根つき、百人一首やカルタ等を通して、子供たちと地域の方々、保護者の皆様とがいつも以上にふれあえる場になればと考えています。当日は学校公開日となっております。地域の皆様、保護者の方々のご参加をお待ちしております。